大津町子育て応援商品券を交付します

●問い合わせ　役場子育て支援課　子育て支援係　☎096(293)5981

物価高騰による家計支援のため、小学校就学前の子どものいる世帯へ町内限定の商品券を交付します。

●**交付時期**　12月下旬

●**対象**

①基準日(令和４年12月1日)において、大津町に住民登録のある小学校就学前の子ども

②令和４年12月２日から12月31日までに、出生または転入により大津町に住民登録した小学校就学前の子ども

※対象児童の保護者に交付します。

●**内容**　町内の取扱店で使用できる商品券(5,000円分)

●**使用期間**　令和５年１月１日(日)～２月28日(火)

●**交付方法**

①町内保育所などに就園している場合、対象児童の保護者に子どもの就園先を通じて交付します。

②町内保育所などに就園していない場合、対象児童の保護者に郵送で交付します。

※交付を希望しない人はご連絡ください。

子育て応援商品券の取扱店を募集！

町内商品券の使用先となる取扱店(店舗や事業所など)を募集します。

●**対象者**

町内に店舗や事業所がある事業者

※飲食店や小売店、タクシーなどの事業者が取扱店の対象になります。

●**申し込み・問い合わせ**

大津町商工会（事業委託の請負者）

☎096(293)3421

大津町商工会に、申請書一式を持参してください。取扱店としての詳細(仕様や換金方法など)は、申し込みの際に説明します。

●**申込期限**　12月５日(月)

※期限までに申し込むと、取扱店一覧のチラシへの掲載が可能です。申込期限後も商品券の使用期限までは、随時申し込みを受け付けます。

デジタルこども手帳「てくてく」を導入

●問い合わせ　役場子育て支援課　子育て支援係　☎096(293)5981
健康保険課　母子保健係(子育て・健診センター内)　☎096(294)1075
総合政策課　デジタル推進係　☎096(293)3118

11月からデジタルこども手帳「てくてく」が利用できるようになりました。「てくてく」は、「母子手帳」機能や「大津町の子育て情報」、「妊娠・子育てコラム」、行政手続きへのアクセスなどを集約して提供するスマートフォン向けのウェブサービスです。「てくてく」を通してさまざまな子育て支援情報を発信していきますので、ぜひご登録ください。

1 母子手帳機能

成長や記録をスマホでいつでも確認できます

2 大津町子育てだより

子育て支援情報などのお知らせを配信します

3 子育て役立ちコラム

専門家監修の安心情報をお届けします

【協賛】ライフネット生命

登録はこちら▶

※初期登録を行う際は、利用規約・プライバシーポリシーをよくご確認いただき、同意のうえでご利用ください。

大津町公式 LINE で

てくてくの更新情報もお届けしています！登録してもっと便利に！

友だち登録は、スマホのカメラでこちらを読み取るだけ▶

大津町地域活性化起業人活動報告

大津町の地域活性化起業人の活動を報告します。今回は今年11月で１年の任期を終えた全日本空輸株式会社の大塚栞奈さんの１年間の活動をご紹介します。

地域活性化企業人(全日本空輸㈱)
大塚（おおつか）　栞奈（かな）さん

地域活性化起業人としての1年

昨年12月からの1年間、地域活性化起業人としてふるさと納税の返礼品や特産品開発、SNSによる情報発信などに取り組んできました。ふるさとである大津町を隅々まで歩き回り、多くの方々と深く交流しながら、これまで知らなかったさまざまの町の魅力と出会いました。

ふるさと納税返礼品開発では、農畜産物の新たな形の返礼品をはじめ、町に足を運んでいただけるような体験型の返礼品開発に取り組みました。例えば、HSR九州で定期的に開催されているプロのバイクレーサー・青木拓磨（あおきたくま）さん主催のバイクレース参加券。私も初めてバイクに乗りました。次に観光タクシーの利用券、空港に近い地の利を生かしたサービスとして提案しました。他には自然の中のキャンプサイトの利用券。手作りのウッドサイトを初めて見たときは心が踊りました。自分自身が体験して、感動した大津町の魅力を一つ一つ返礼品として提案してこれました。

ふるさと納税の返礼品の PR

同じく力を注いできたのが特産品開発です。町のクラフトビール専門店「WITCH CRAFT（ウィッチクラフト） MARKET（マーケット）」協力の下、大津町オリジナルのクラフトビールを開発しました。原料のすいおう(からいもの茎)や金柑、そしてホップなどは大津町産のものを使用し、収穫から仕込みまで携わりました。「熊本旅行の最後、このビールを旅の思い出に、飲みながら旅の余韻に浸ってもらいたい」そんな思いで造られたクラフトビールです。ぜひ皆さんに手に取っていただけると嬉しいです。

また、11月には羽田空港で大津町特産品マルシェを開催しました。ANAの職員向けのものでしたが、町の特産品であるからいも関連の商品は開始1時間で完売するほどの大盛況。全国を飛び回るANAグループの職員に特産品を通じて大津町の魅力を知ってもらえる機会になりました。

また、客室乗務員の経験を買われ、住民の対応が多い住民課の皆さんに接遇マナーをアドバイスする機会をいただきました。改めて自身の接遇スキルを見直す機会となり、身の引き締まる思いでした。

大津町産のホップを収穫

1年という短い期間ではありましたが、生まれ育った故郷の知らなかった側面に触れ、こんなにも魅力にあふれた町だったのだと改めて実感しました。こんな素敵な町なんだよと、少しでも多くの人に訪れ、知ってもらいたいと感じ続けた、そんな1年でした。

これまで私は飛行機の中のことしか知らず、初めて取り組む業務内容に右も左も分からない中で、地域の皆さんに支えていただきながらやってくることができました。帰任後も客室乗務員としてお客様に大津町をしっかりアピールしていきます。ありがとうございました。

肥後おおづ観光協会の事業にも積極的に従事